広報
にしあわくら

10
761 神無月 2026

西粟倉村に帰ってきました。日々、感じることや、想いがあります。



村内で活躍する
Uターン者ってどうなっとん？

今月のテーマ　村内で活躍するUターン者ってどうなっとん？

はじめに

8月号の「村外で活躍する村出身者」に続き、10月号では村に戻って活躍するUターン者を紹介します。子どもたちが挑戦する力や進む道を見つけ、地域の誇りや応援の輪が広がるきっかけになれば幸いです。

政久翼さん



Q1 自己紹介・現在の仕事（活動）内容

谷口出身で現在下土居に住んでいます政久翼です。現在はアイリー鍼灸院で鍼灸院とよもぎ農家として主に下土居を拠点に働いています。

Q2 村内で働くことを選んだきっかけと現在の仕事の魅力

ゆくゆくは村で働きたいと思っていましたが、学生時代に叔父さんに陸上での身体の使い方を診てもらったのがきっかけです。適切な体の使い方を伝えることでその人の記録が伸びたり、怪我が起きにくい身体づくりに携われることが今の仕事の魅力です。

Q3 西粟倉で過ごした子ども時代の思い出

小学校のスポ少時代の合宿でBBQをしたり、川遊びをしたり、あわくら神社で肝試しをしたりしたことが思い出です。

Q4 西粟倉の好きなところ

村の人とのつながりです。都会では近所の人とのつながりは薄いと感じていましたが、村では車がすれ違う時でさえ、あいさつしてくださる方もいるので、そういった繋がりが村にはあって好きです。

Q5 一度外へ出たからこそ見える西粟倉について

自然が豊かで、家にこもるだけでなく外で多くの体験ができる環境に魅力を感じました。前に住んでいた大阪では公園でスマホを見る学生をよく見かけましたが、村では豊かな自然に触れられ、感受性を育めると感じました。

Q6 これから西粟倉でどんな未来をつくっていきたいか

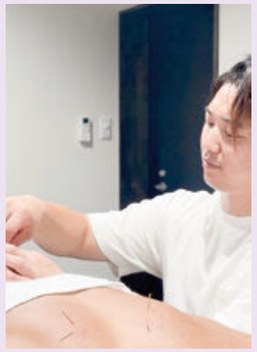
村には診療所が一つしかないため、薬に頼らず改善できる症状や鍼灸で未病の段階からケアできることを村の方々に知ってもらいたいです。そして、より一人でも多くの方の健康を守りたいと考えています。

Q7 現在の目標

村の健康相談所として、たくさんの方に相談してもらえるような関係性を構築していくことです。

Q8 村の後輩たちへ向けたメッセージ

高校で親元を離れて、親のありがたさに気づきました。だからこそ、小中学生のうちにさまざまな大人を頼り、いろいろな経験をして、将来の選択肢を広げてほしいです。



内海千夏さん



Q1 自己紹介・現在の仕事（活動）内容

坂根出身の内海千夏です。現在は坂根の実家の隣でNatu Beauty（ナチュビューティー）という名前の美容院を開業して美容師として働いています。

Q2 村内で働くことを選んだきっかけと現在の仕事の魅力

関西で長く美容師を続け、やり切った気持ちがある中で、村に挑戦している人が多く、地域おこし協力隊事業による起業支援の環境が整っていたことがきっかけでした。今の仕事の魅力は、顔なじみの人たちの成長を身近に感じられることです。

Q3 西粟倉で過ごした子ども時代の思い出

今では中々できないですが、近所の友達と近くの川で遊んだことが思い出です。

Q4 西粟倉の好きなところ

静かな環境の中で、虫や鳥の鳴き声を聞きながら、ゆったりと時間の流れを感じられるところが好きです。

Q5 一度外へ出たからこそ見える西粟倉について

昔は都会に憧れて村を出ましたが、騒音などのストレスが多くありました。村に戻ってからはそのようなストレスはなくなり、24年前と比べて、挑戦する人や子どもから高齢者まで楽しめる場所が増えたと感じています。

Q6 これから西粟倉でどんな未来をつくっていきたいか

美容を通して、「田舎だからおしゃれになれない」と思う人を減らし、おしゃれを楽しむ人をもっと増やしていきたいです。

Q7 現在の目標

一人でお店をやっているからこそ、お客さまの美容を守り続けるためにも、自分の健康管理を大切にしていきたいと思っています。

Q8 村の後輩たちへ向けたメッセージ

子ども時代の思い出は、何年たっても心に残るものです。だからこそ、村の豊かな環境の中で、思いきり楽しんでほしいと思います。私自身、起業した際に実感しましたが、村は「やりたい」という思いをしっかり応援してくれます。やってみたいことがあれば、ぜひ挑戦してみてください。



白旗諒さん



Q1 自己紹介・現在の仕事（活動）内容

別府地区出身の白旗諒です。現在は西粟倉村役場で広報や消防などの担当をしています。

Q2 村内で働くことを選んだきっかけと現在の仕事の魅力

地域の方々や村の先輩・後輩に育ててもらったという思いが強く、今度は自分が恩返しをしたいと考えたことがきっかけです。

また、同世代が村を離れる中で、自分がこの村を守っていく存在になりたいという気持ちもありました。役場の仕事は住民のみなさんとの距離が近く、自分の仕事の成果が見えやすいところに魅力を感じています。

Q3 西粟倉で過ごした子ども時代の思い出

小学生の頃、休み時間にみんなでしていたサッカーが思い出です。学年や男女を問わず、みんなで一つのボールを追いかけ、時にはけんかをすることもありましたが、転校生だった私がすぐに学校に馴染めたのは、先輩や後輩たちと一緒にサッカーをしていたおかげだと思います。

Q4 西粟倉の好きなところ

西粟倉の好きなところは、人が優しいところです。登下校の際に地域の方が声をかけてくださるなど、地域全体で子どもを見守る温かさがありました。大人になった今でもそのことを覚えており、人とのつながりは村ならではの良さだと感じています。

Q5 一度外へ出たからこそ見える西粟倉について

一度外へ出たからこそ見えたのは、西粟倉が着実に発展している姿です。高校や大学時代には、役場が新しくなるなど目に見える変化から村の成長を感じていました。役場に入ってからは、その背景に多くの人の努力があることに気づきました。

Q6 これから西粟倉でどんな未来をつくっていきたいか

一番の理想はUターン者を増やしていくことですが、どんな形でも村と関わってくれる同世代の村出身者を増やしていきたいと考えています。

Q7 現在の目標

定期的に村出身者の若者が参加できるイベントを開き、そのイベントを一緒に作ってくれる人も増やしていきたいと考えています。

Q8 村の後輩たちへ向けたメッセージ

外の世界でたくさんの経験を積み、そのうえでぜひ村に帰ってきてほしいです。村の大人たちはいつでもみなさんを待っています！



建元荘大さん



Q1 自己紹介・現在の仕事（活動）内容

筏津地区出身の建元荘大です。現在はエーゼログループでジビエやうなぎの加工に携わっています。

Q2 村内で働くことを選んだきっかけと現在の仕事の魅力

もともと明確にやりたいことがあったわけではありませんが、子どもの頃から自然環境に興味があり、地元で自然に関わる仕事がしたいと思ったことがきっかけです。シカを放置せずに加工して活用することでクマの出没対策につながることや、うなぎをおいしそうに食べている人の姿を目の前で見られることに魅力を感じています。

Q3 西粟倉で過ごした子ども時代の思い出

小学生の頃、あいさつタッチの旅で歌を作ったことや、たんけんクラブのキャンプで薪割りをして大人の方に「上手だね」と褒めてもらったことが、今でもよく印象に残っています。

Q4 西粟倉の好きなところ

村民の方との関わりです。親の名前を出すと分かってくださることが多く、気さくに話しかけてくださるところが好きです。

Q5 一度外へ出たからこそ見える西粟倉について

村を出ていた大学時代に、村以外の人と関わる中で、川遊びや元気学習など、村でしか経験できなかったことの多さに驚きました。

Q6 これから西粟倉でどんな未来をつくっていきたいか

西粟倉村がこれからも続いていけるように、私はジビエやうなぎを通して村の魅力を発信し続けたいと思っています。

Q7 現在の目標

子どもの頃、私に力をくれた自然に、仕事を通じて何らかの形で恩返しができればと思っています。そして、たんけんクラブなどで教えてもらった村の自然の楽しさを、今度は私が子どもたちに伝えていきたいです。

Q8 村の後輩たちへ向けたメッセージ

村での子ども時代の経験は、大人になってからはなかなかできない大切なものです。都会ではお金を払わないとできないことも多いので、村の自然の中でたくさん遊び、たくさんの経験をしてほしいと思います。



図書館からのお知らせ

「読書週間」のお知らせ

10月27日(火)～11月9日(月)は秋の読書週間です。

みなさんにたくさん本を読む機会をつくっていただけるように、楽しい企画をご準備しています!

詳細につきましては、イベントチラシやインスタグラムで随時お知らせします。

お楽しみに♪



督促状送付について

10月中旬頃から、本を借りてから半年以上経過している方への督促状を郵送します。

お手元にある本をご確認のうえ、早期返却のご協力をよろしくお願いします。

文化祭時の開館のお知らせ

今年の文化祭は、10月31日(土)～11月1日(日)の期間で開催いたします。文化祭当日も図書館のご利用(貸出と返却)は出来ます。ご来館お待ちしております。

ご利用案内

10月 図書館のおやすみ

12日(月・祝日)
26日(月・図書館整理日)

11月 夜と、図書館の日

5日(木)～20時まで

図書館の休館日:祝祭日、毎月最終月曜、年末年始
あわくら会館　　開館時間　8:30～22:00
あわくら図書館　開館時間　10:00～18:00
あわくら会館のイベントの詳細は別紙チラシをご覧ください。

図書館の新刊案内

『なぜドラえもんはのび太を見捨てないのか』
横道　誠／著　三和書籍



ドラえもんをはじめ、物語のキャラクターの関係性から「依存」と「自立」について考察。身近な作品を題材に、人とのつながりや自分らしく生きることについて考えるきっかけになります。

一般書

『噛み活のススメ』
中西　保二／著　評言社



「噛むこと」を意識する“噛み活”について、健康や暮らしとの関わりをわかりやすく紹介。毎日の食事ですぐに実践できるヒントを通して、噛むことの大切さを改めて見直せる内容です。

一般書

『永遠の記憶』
東野圭吾／著　文藝春秋



刑事・内海薫が突然刺された事件をきっかけに、湯川と草薙が「忘れてはいけない謎」に迫ります。過去と現在が交錯する中、ついに明かされる「ガリレオ、最後の謎」。シリーズ最新長編です。

一般書

『ジブリの食卓　崖の上のポニョ』
スタジオジブリ／監修　主婦の友社／編　主婦の友社



『崖の上のポニョ』に登場する食事を通して、物語の世界を楽しめる子ども向け料理絵本。作品に登場する料理や、物語をイメージしたレシピを親子で作って味わう楽しさが広がります。

児童書

お問い合わせ先　あわくら会館・図書館 TEL0868-79-2116　教育委員会事務局 TEL0868-79-2216

あつまる、つながる、やってみる、
あわくら会館



▲8/30(日)「コラージュ作品をつくってみよう」の様子

あわくら会館で「生きるを楽しむ」様子を紹介

村民講師行事

「ミニ四駆教室」

8月9日(日)、白岩将伍さん(中土居)を講師に、村民講師企画「ミニ四駆教室」を開催しました。子どもたちは自分の手で一からミニ四駆の組み立てに挑戦。細かなパーツに苦戦しながらも、完成を目指して夢中で取り組みました。完成後はコースで試走し、ミニレースも開催。自分で組み立てたマシンが走る姿に歓声が上がり、子どもたちだけでなく、当時ブームを体験していた保護者自身も一緒になって楽しむ時間となりました。



主催行事

「コラージュ作品をつくってみよう」

8月30日(日)、雑誌やチラシを使ったコラージュづくりを行いました。参加者は「これ好き!」と感じた写真や文字を自由に選び、切って、貼って、思い思いの作品づくりに夢中。同じ材料を使っていても、選ぶ素材や色、配置、組み合わせによって、一人ひとりの感性や個性が光る作品が完成しました。本や雑誌を「読む」だけでなく、素材として楽しみながら、新たな魅力に触れる時間となりました。



▲Instagram イベント情報

▲Facebook

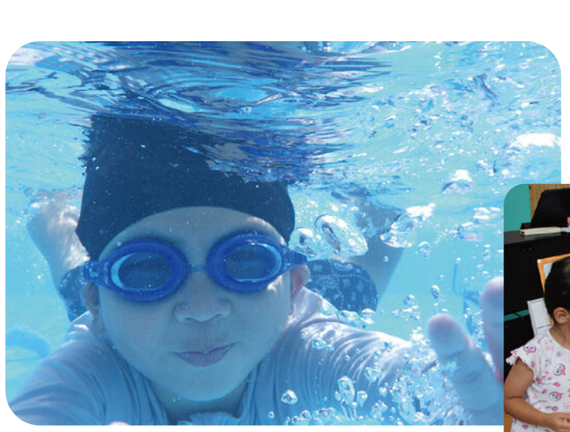




幼稚園

「2学期はたのしみなことい っぱい！」

夏休みが明け、2学期が始まりました。始業式での姿勢良く園長先生の話に耳を傾ける姿から、園生活の始まりに期待や楽しみを感じていることが伝わってきます。これからは運動会にはじまり、親子遠足に発表会と楽しい行事も目白押し。その中で自分を表現したり、友だちと協力したりすることを楽しみながら、地域の方にも園児の声やパワーをお届けしていけたらと思います。写真は夏休みの預かり保育中も元気いっぱい過ごした子どもたちの様子です。ぜひご覧ください。









保育園

『園庭で造形あそび』

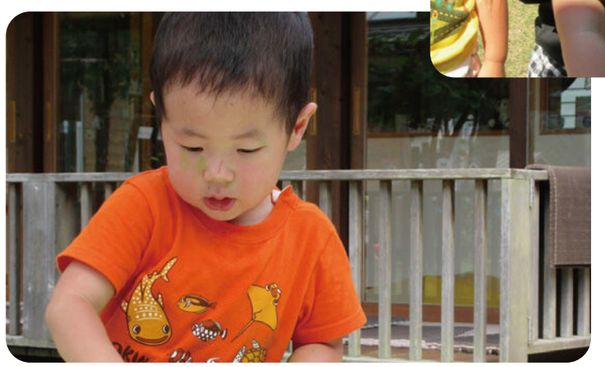
お祭りで花火を見た後にトイレットペーパーの芯を利用した花火のスタンプ。一枚の紙にみんなでぺったん♪大きな花火が保育園のお部屋にあがりました。次の日は野菜スタンプに挑戦！遊びの中で触れたからか、ゴーヤの唐揚げもいつもよりよく食べた子どもたち。青空の下で気持ち良かったのか、筆を持って画伯のように集中する子どももいて、それぞれに思い切り表現していました。















小学校

『2年目の挑戦！』

全校が縦割り班で集まり、話し合いで自分たちの学校をつくる「ホームタイム」も2年目！「我がごとプロジェクト2.0」を合言葉に、全校遊びの企画やみんなで楽しめる活動の提案など、前向きな挑戦が広がっています。班での話し合いも少しずつ形になってきました。前進する子どもたちを温かく応援してください！













中学校

『観劇会』

8月26日(水)、夏休み中の全校登校日に、あわくら会館で観劇会を開催しました。劇団「じゆう劇場」の「『赤ずきん』から生まれたもの」の鑑賞や演技体験、劇団員主導のワークショップなどを通して芸術に触れるとともに、友達との関わり方や障がいのある方の社会参画について考えることのできるよい機会になりました。









観光再整備事業について

西粟倉村「百年の森林観光・産業創出事業」推進業務委託の事業者を決定しました

村では、令和８年度から令和10年度までの3か年度で進める「百年の森林観光・産業創出事業」について、８月25日（火）に行った公募型プロポーザル審査会により事業者の選定を行いました。

審査の結果、左記事業者を決定しました。

［事業者名］
西粟倉百年の森林観光・産業創出事業支援コンソーシアム
［代表構成員］
株式会社Ｃキューブ・コンサルティング
［構成員］
株式会社カヤック
ＰｗＣコンサルティング合同会社
ＮＴＴドコモビジネス株式会社

今後は、3か年度を通じて、観光推進組織づくり、観光コンテンツの開発、情報発信などを進め、村全体の観光産業づくりに取り組んでいきます。

観光ブランディング事業を進めています

村では今年度、村の歴史や風土、産業、日々の暮らしに息づく魅力を改めて見つめ直し、「何を大切にし、どう伝えていくか」という観光再整備事業全体の軸を整理するため、株式会社日本デザインセンターとともに村の観光ブランディングに取り組んでいます。

この業務で現在進めていることは、村民のみなさまの言葉や日々の営みを丁寧に聞き取る取材です。西粟倉村がこれまで大切にしてきたこと、村で暮らし働く人たちの思い、暮らしの中にある西粟倉らしさを受け止めながら、これからの村の土台となる考え方を整理しています。

７月には、「百年の森林構想」に深く関わってこられた方々からお話を伺い、若杉原生林や林業の現場などでも取材や撮影を行いました。9月には、食や宿などに携わる方々を中心に、村で暮らし、働く方々の取材を行いました。

観光再整備事業は、村の未来に向けた大切な取り組みです。新しいモノやコトをつくること自体を目的とするのではなく、軸足はしっかりと村民のみなさまの思いに置きながら、世代を越えて受け継がれ、決して消えない種火のように持続するこころざしを形にしていきたいと考えています。

取材にご協力いただいたみなさまに感謝申し上げます。取材はこれからも続いてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

今後の様子や取り組みの成果につきましては、広報紙をはじめ、さまざまな形でお伝えしていきます。取材や話し合いを重ねながら、西粟倉らしい観光の軸を形にしていきます。



【産業観光課】

自然を生かして、地域の未来へ

―ネイチャープレナー・ジャパンとの取り組み―

西粟倉村では、豊かな森林や川、田畑などの自然を守りながら、その自然を教育や観光、産業などに生かし、地域の新たな価値や可能性につなげていく取り組みを進めています。

その取り組みの一つが、一般財団法人ネイチャープレナー・ジャパン（ＮＰＪ）との連携です。「ネイチャープレナー」とは、自然を大切にしながら、新しい活動や事業に挑戦する人のこと。ＮＰＪは、こうした人たちを応援し、自然と地域の暮らしや産業がともに豊かになることを目指しています。

ＮＰＪでは、自然の再生や生物多様性に関する活動を支援する助成事業を行っています。

２０２６年度は、西粟倉村で生物多様性教育や環境教育を進める団体を対象とした「西粟倉枠」も設けられ、村内で新しい取り組みを試したり、今後の展開を考えるための計画づくりを行う活動を支援しています。

村では、この取り組みを応援する企業からの寄附を活用し、ＮＰＪと連携して、生物多様性に関する活動や、自然を生かした地域の新しいチャレンジを支援しています。

〇自然を生かした地域の未来を考える交流会を開催

８月22日（土）に、あわくら会館など村内を会場に、自然を生かした地域の未来について考える交流会が開催されました。

全国から企業、自治体、大学・研究機関、地域で活動する人たちが集まり、午前は村内の木材加工場や田んぼ、土場などを見学しました。午後は、企業や自治体、大学・研究機関など、さまざまな立場の参加者が、自然を地域の力に変えていくために何ができるか意見を交わしました。また、全国各地で活動するネイチャープレナーから、地域で進めている活動や新たな挑戦が紹介されました。

西粟倉村には、「百年の森林構想」をはじめ、自然と向き合いながら地域をつくってきた積み重ねがあります。これからも、豊かな自然を次の世代へつなぐとともに、自然の力を地域の未来に生かす取り組みを進めていきます。



NATURE-PRENEUR JAPAN
ネイチャープレナー・ジャパン

【産業観光課】

こどものインフルエンザ予防接種について（おしらせ）

◇10月1日（木）からインフルエンザワクチンの予防接種が始まります。

接種後2週間から約5ヶ月間、免疫効果がありますので、インフルエンザが流行する前に、早めに予防接種を受けておきましょう。

接種期間

令和8年10月1日（木）～
令和9年3月31日（水）

接種場所

①西粟倉村診療所
（※予約が必要です。午後の時間帯にお電話ください）
TEL　79-2220
②①以外の医療機関
（※予約が必要です）
③県外の医療機関
※佐用中央病院・佐用共立病院・酒井医院・智頭病院・岡本医院以外の病院で接種を希望の方は、接種の2週間前までに保健福祉課へご連絡ください。

持参物

マイナ保険証又は資格確認書など年齢が確認できるもの（助成券が送付されている方は必ず一緒にお持ちください）

料　金

下記のとおり
（世帯に応じて、助成の有無や、助成額が異なっています）

年齢別／接種回数	0歳から12歳／2回接種		13歳から15歳／1回接種	
西粟倉村診療所で接種する場合	生活保護・非課税世帯の方	課税世帯の方	生活保護・非課税世帯の方	課税世帯の方
【自己負担額】	0円	① 1,500円 ② 3,000円	0円	① 1,500円 ② 3,000円
西粟倉村診療所以外で接種する場合	医療機関により異なる			
【助成額】	0～12歳 全額助成	① 1,500円 ② 3,000円	13～15歳 全額助成	13～15歳 ① 1,500円 ② 3,000円

※助成対象の方で、西粟倉村診療所以外の医療機関で接種された場合は、償還払いとなります。領収書・接種証明書・受け取り口座の通帳をお持ちのうえ、保健福祉課窓口にて申請してください。

※ワクチンの種類：①不活化ワクチン　②経鼻生ワクチン

※1回目の接種の際、12歳で2回目の接種時に13歳になっていた場合でも、12歳と考えて2回目の接種を行っても問題ありません。
※経鼻生インフルエンザワクチン（鼻腔内に噴霧するワクチン）をご希望の方は、医療機関へご確認ください。（助成回数は1回です。）

【保健福祉課】

◇65歳以上の方の「インフルエンザ」と「新型コロナワクチン」予防接種について

接種期間

令和8年10月1日（木）～
令和9年3月31日（水）

接種場所

①西粟倉村診療所
（※予約が必要です。午後の時間帯にお電話ください）
TEL　79-2220
②県内の医療機関（※予約が必要です）
③県外の医療機関
※佐用中央病院・佐用共立病院・酒井医院・智頭病院・岡本医院以外の病院で接種を希望の方は、接種の2週間前までに保健福祉課へご連絡ください。

持参物

マイナ保険証又は資格確認書など年齢が確認できるもの**（助成券がある方は必ず医療機関にお持ちください。）**

料　金

◎インフルエンザ自己負担額
2,000円
※生活保護・非課税世帯の方には、無料で接種ができる助成券を郵送しますので、ご利用下さい。
◎新型コロナウイルス自己負担額
2,000円
※生活保護世帯の方には、無料で接種ができる助成券を郵送しますので、ご利用下さい。

対象者

65歳以上の方
60～64歳の方で、心臓・腎臓・呼吸器の機能障害、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する方。

ご不明点などございましたら、お気軽にお問合せください。

【保健福祉課】

祝 100歳おめでとうございます!!

8月5日（水）に100歳のお誕生日を迎えられた塩谷の矢代清子さんのお宅へ、8月4日（火）に伺いました。

とてもお元気なご様子で訪問した一同を迎えてくださり、村長や議長と一緒に昔の塩谷についてや、親族関係についてなど次々と会話を交わされていらっしゃいました。西粟倉生まれ、西粟倉育ちで、村がとても良いところであるとも話されていました。

長い人生の中で、さまざまな出来事があったこと、良いことばかりではなかったけれども、今も楽しく過ごされていらっしゃることなどお聞きできました。

記念品をお渡ししたり、お話をしたりと長い時間でしたが、終始背中がピンと伸びていてとても100歳とは思えないような若々しさを感じました。

これからも健康に気を付けて、お元気にお過ごしください。

【保健福祉課】

10月は里親月間です

■『里親』とは、さまざまな事情により家族と一緒に生活することができない子どもを家庭に迎えて育ててくださる方のことです。

■『里親制度』は、温かい愛情と正しい理解を持った家庭環境の下での養育を提供する制度です。また、家庭での生活を通じて、子どもが成長する上で極めて重要な特定の大人との愛着関係の中で養育を行うことにより、子どもの健全な育成を図る有意義な制度です。

■温かい家庭の味を知らず、里親さんとの暮らしを心待ちにしている子どもがいます。子どもが好きな方、子育てが一段落ついた方、子育て経験を生かしたい方など、里親制度に興味をお持ちの方は、お気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
〒708-0004
岡山県津山市山北288-1
岡山県津山児童相談所
子ども支援課
TEL：0868-23-5131
FAX：0868-23-5132



【保健福祉課】

年末調整について

会社等にお勤めの方で年末調整を行う方は、次の点に注意して年末調整を行ってください。

■扶養親族の確認をしましょう
年末までに扶養親族の人数が変わる場合は、勤務先に提出済の「給与所得者の扶養控除等申告書」を訂正してください。

■各種控除額の確認をしましょう
年末調整において、各種の控除を受けるために必要な申告書と受けられる控除は表のとおりです。必要な申告書を準備して勤務先に提出してください。

■再就職をした人は、前職の源泉徴収票を現在の勤務先に提出しましょう
今年、会社を退職して別の会社に再就職した人は、一年間の給与総額を基に、現在の勤務先で年末調整を行います。退職した会社から源泉徴収票を取り寄せ、現在の勤務先に提出してください。

詳細は国税庁ホームページ「令和八年分年末調整のしかた」をご参照ください。

受けられる控除	必要な申告書
扶養控除、障害者控除、寡婦控除、ひとり親控除、勤労学生控除	令和８年分　給与所得者の扶養控除等（異動）申告書
基礎控除	令和８年分　給与所得者の基礎控除申告書
配偶者控除、配偶者特別控除	令和８年分　給与所得者の配偶者控除等申告書
特定親族特別控除	令和８年分　給与所得者の特定親族控除申告書
所得金額調整控除	令和８年分　所得金額調整控除申告書
生命保険料控除、地震保険料控除、社会保険料控除（申告分）、小規模企業共済等掛金控除（申告分）	令和８年分　給与所得者の保険料控除申告書
（特定増改築等）住宅借入金等特別控除	令和８年分　給与所得者の（特定増改築等）住宅借入金特別控除申告書

【総務企画課】

アスパラガス・リンドウの新規栽培者募集

勝英地域特産のアスパラガス、リンドウについて、販売農家として栽培を検討している方を対象に、新規栽培説明会を開催します。

○アスパラガス
3～10月までの長期出荷と安定した単価によって収益が確保でき、軽量で高齢の方や女性も取り組みやすい品目です。

○リンドウ
仏花からカジュアルまで幅広い需要があり、涼しい場所が栽培に向いているため、西粟倉村は栽培適地です。

※りんどうの説明を希望される場合は11日（水）にご参加ください。

※黒大豆枝豆、きゅうりも説明予定です。

◆開催日時・場所

日時	日時
11月10日（火）10：00～	JA晴れの国岡山勝央支店（勝央町植月中858－4）
11月10日（火）13：30～	JA晴れの国岡山勝英統括本部（美作市明見172－２）
11月11日（水）10：00～	JA晴れの国岡山英北支店（美作市古町1775）
11月11日（水）13：30～	JA晴れの国岡山奈義支店（奈義町久常264）
申込締切：10月30日（金）	

◆申込・問い合わせ先
ＪＡ晴れの国岡山勝央
アグリセンター（担当:倉地）
0868（38）3134

リンドウPR動画

第５回村民グラウンドゴルフ大会

8月22日（土）に第５回村民グラウンドゴルフ大会が開催されました。

昨年度から村民のみなさんが参加しやすいようにと、天岡グラウンドゴルフ場から村民グラウンドに会場を移しました。

当日は25名の方が参加され、天気にも恵まれ、和気あいあいと気持ちよくプレーすることができました。ホールインワンを果敢に狙う姿が印象的でした。

大会終了後は、「負傷者や体調不良者が出ることなく終えられてよかった。また練習に励みましょう。」と声を掛け合っていました。

優勝　春名義昭さん
準優勝　草刈弘幸さん
3位　豊福基世さん
4位　榎原勝義さん
5位　豊福秀樹さん
おめでとうございます！



【教育委員会】

ふるさと納税活用事業補助金令和8年度プロジェクト募集

村のふるさと納税を活用してみなさまのチャレンジを応援する制度の令和8年度プロジェクトを募集します。

本補助金は、新たな事業や事業拡大だけではなく、イベント開催、地域での取り組みなどさまざまな取り組みに活用できます。詳しくは、折込チラシまたはQRコードから村のホームページをご確認下さい。

みなさまのご応募をお待ちしております!

【総務企画課】

中国5県縦断法律相談会のお知らせ

日時　令和8年10月24日(土)
午前10時～午後4時まで
※ご予約不要(予約もできます)
場所　あわくら会館
西粟倉村役場東4
相談事項
・相続、遺言・成年後見
・ご近所トラブル、空き家
・悪質商法・夫婦、親子関係・交通事故・登記・借金
・その他、司法書士が相談を受けることができる法律問題全般
電話相談
0120-668-998
※10月24日(土)、11月21(土)のみつながります。
ご予約・お問い合わせ先
日本司法書士会
中国ブロック会事務局
(082)221-5345
※午前9時～午後5時まで

【総務企画課】

★カップリングパーティ開催★

恋する💛秋色BBQ

秋の大自然に囲まれてみんなでワイワイBBQ♪
美味しいものを一緒に囲めば、初対面でも自然と会話が弾みます。いつもの日常を少し離れて、心地よい秋風の中で心ときめく素敵な恋を見つけませんか?
お一人での参加も大歓迎です!
♡開催日時：11月1日(日)
♡開催場所：大芦高原
(美作市上山 1735)
♡参加資格：35歳までの独身男女
♡募集定員：男性10名 女性10名
※応募者多数の場合は抽選。ただし、美作市・西粟倉村在住者を優先
♡参加費：男女とも3000円
♡〆切日：10月18日(日)
♡抽選日：抽選の結果は10月20日(火)以降にLINEに送ります

【主催】美作市市民生活部市民課
【共催】西粟倉村
【お申込み・お問合せ】
有限会社チアーズ
TEL：086-461-0506
(10：00～18：00　土日祝対応)
※イベントの詳細、お申込みは専用サイトよりご確認ください。



お申込はこちらから↓

【総務企画課】

「レーシングドライバーJu·Ju(野田樹潤)さん一日警察署長就任」

美作警察署 地域安全運動出発式イベントを開催します

イベント内容
○一日警察署長委嘱式、防犯功労者表彰式
○Juju さんによるパトカー運転披露
○Juju さんの号令による防犯パトロール隊出発セレモニー
○Juju さん使用のフォーミュラーカー展示
○防犯チラシ・啓発グッズの配布

日時　令和8年10月13日(火)
10：00～12：00
場所　美作市営湯郷駐車場
(美作市湯郷813-5)
※雨天時は式典会場を美作市立湯郷地域交流センターに変更
(美作市湯郷826)
申込・入場料　申込不要／無料
主催　美作警察署

※駐車場に限りがございます。
※会場では係員の指示に従ってください。
※悪天等により予告なく予定を変更する可能性もあります。





おしえて年金

国民年金保険料は全額が社会保険料控除の対象です!

国民年金保険料は、社会保険料控除としてその年の課税所得から控除されますが、控除の対象となるのは、令和8年中(令和8年1月1日から令和8年12月31日)に納められた保険料の全額(過去の年度分の含む)です。

社会保険料控除を受けるためには、年末調整や確定申告の際に、保険料を支払ったことを証明する書類の添付が必要となります。

このため、日本年金機構から次のスケジュールで「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が対象者宛に発送されますので、お手元に届きましたら、大事に保管し、年末調整や確定申告の際に使用してください。

発送時期	対象者
令和8年10月下旬から11月上旬にかけて順次発送	令和8年1月1日から令和8年9月30日までの間に納付された方
令和9年2月上旬	令和8年10月1日から令和8年12月31日までの間に納付された方(①の対象者は除く。)

なお、ご家族(配偶者やお子様等)の国民年金保険料を支払っている場合についても控除が受けられます。

★詳しくは、津山年金事務所(電話 0868-31-2360)までお問い合せください。

【保健福祉課】

特色ある教育通信

あわくらみらいアカデミー
「ただ川で遊ぶ日」

川に入る機会が少なくなった昨今、Ｐｏｃｋｅｔでは「ただ川で遊ぶ日」を夏休みに実施しました。「この辺にいそう」「石の下におるんで」と網を手に生き物探しから始まりました。小魚はいましたが、「もっと大きい魚も探したい！」と、浅瀬の岩場の陰や川底の石の裏などを入念に探しました。「こっち側で網持ってるから、そっちから追い込んで」など、協力して捕まえる姿も見られました。水に慣れてくると、向こう岸まで泳いだり、そのまま身を任せて流されてみたり。最初は足がつかない深いところが怖かった子も少しずついろんなことに挑戦を重ね、最後には勇気を出して飛び込む姿も見られるようになりました。「次はもっと大きな魚を捕まえたい！」「飛び込みが楽しかったからまたやりたい！」と、それぞれの関心も出てきて、自然を『ただ』親しみ、遊びこむ機会をつくることができました。





教育コーディネーター　池田 風雅

あわくら大学８月講座

ボードゲームで世代間交流

８月21日（金）、あわくら会館百森ひろばにてあわくら大学８月講座「ボードゲーム体験」を開催し、あわくら大学生27名、放課後児童クラブ「げんきっこ」の児童23名、指導員５名、高校生スタッフ３名が参加しました。

今回は、ボードゲームを通じた異世代交流を実施しました。事前にあわくら会館のボードゲームを借りてルールを覚えてくれていた児童たちが先生役となり、大学生のみなさんに遊び方をレクチャー。全11種類の多彩なゲームをグループで混ざり合って一緒に楽しみました。

戦略を考えたり笑顔で言葉を交わしたりしながら、脳の活性化や豊かな社会的交流を深める時間となりました。子どもたちから教わりながら真剣に頭を悩ませたり、歓声を上げたりと、世代を超えた温かなふれあいに会場は終始熱気と活気に包まれていました。





あわくら会館・図書館　副館長白岩将伍

むらまるごと通信vol.59

令和8年度 2つの交付金事業について

西粟倉むらまるごと研究所は、今年度から自然資本を活用した「持続可能な農業モデル」と「貢献人口の循環モデル」の構築を目指した２つの事業に取り組んでいます。

「持続可能な農業モデル」は、農業のスマート化等による農業従事者の持続化と、村の自然環境・生物多様性等を付加価値にした農産品のブランド化による稼げる農業を目指すものです。

「貢献人口の循環モデル」は、関係人口や観光客が村の価値を高めるファンとしての関わりを持つためのプラットフォームの構築を目指すものです。

９月13日（日）には、「ファンとともに未来を描く地域づくり－西粟倉と関係人口のこれからについて－」と題し、他の地域での取り組みを聞きながら、西粟倉村のファンとの新しい関わり方をみんなで考えるイベントを開催しました。当日の様子は、次号でご紹介します。





連絡先 090-4109-6500

あわくらたんけんクラブ

大人ボランティア募集

あわくらたんけんクラブでは、西粟倉の「人・もの・場所」を遊びに変え、子どもたちと本気で遊ぶ大人（中学生以上）を募集しています。

特別な経験は不要です。大人が本気で楽しむ姿を見せることが、子どもたちのたくましさを育む一番のきっかけになります。子どもたちの「やってみたい」を支えながら、大人も一緒に村の魅力を遊び尽くしませんか。

天文学者の先生と天体観測、百年の森林の中で雪遊び等、今年度も年間９回の魅力的な企画を実施予定です。

これまでの活動の様子は、インスタグラム「@あわくら会館・図書館」でぜひご覧ください。

【申込・お問合せ】
あわくら会館　白岩まで
【連絡先】
0868-79-2116





お問い合せ　あわくら会館（0868-79-2116）

川柳

栗の実川柳社　令和八年九月句会から

財布

盆疲れ財布も夏バテ一休み　清水早苗

思う・想う

草刈も思う半分年のせい　野村豊紀
この先が何年続く長い夜　清水早苗
同窓会欠席の友に想いはせ　熊見万智子
思い出す思い想われ若き頃　竹内茂子
休み中何して過ごそまずは川　熊見万智子

栗

栗や柿野苺食べた友何処　井上吉男
その昔クマも気にせず栗拾い　建元照子
栗ごはん祭りの客におもてなし　熊見万智子
皮むきの苦労を共に栗ご飯　春名佳世子

祭り

獅子舞に泣いた子供も親になり　井上吉男

自由吟

赤とんぼ我ら来たよと飛び廻り　建元照子
お年寄り若い人よりよく歩き　春名佳世子
杖着いてそれでも友と旅したい　井上栄

広報についてのご意見・感想は掲示板、総務企画課までお問い合わせください。
村民掲示板ページQRコード▼

人の動き

■令和8年8月1日現在の動き

人口	1,261人（ -5）
男	601人（ -5）
女	660人（0）
世帯数	590戸（-7）

8月中の移動

出生	2人
死亡	5人
転入	2人
転出	4人

■お誕生おめでとう

岸田（きしだ） 天音（あまね）ちゃん（大茅）8月19日　バーリッジ、ジェームズデビッド（父）
岸田 萌（母）

■結婚おめでとうございます

高木 一人　中土居
藤井 春菜　中土居

入札状況

事業名	施工場所	落札業者名	契約金額（税込）
令和8年度しごと・くらし応援住宅及びユニット型実証住宅外部倉庫一式	長尾地内	大茅土建有限会社	2,189,000円
西粟倉村防災ガイドブック改訂及び12地区ハザードマップ作成業務	影石地内	友野印刷株式会社	1,463,000円

善意の窓

■令和8年8月26日～令和8年9月18日

【香典返し】

猪之部　河野 明美 様　　父 髙志 様

寄せられたご寄附は、ボランティア活動等の地域福祉の推進に役立っています。

あわくら百景



【あわくらの獅子舞】

その昔、宝暦８年（1758）当時、あわくらの里には神社の名前をめぐる大論争があったらしい。村の中だけでは決着がつかず、なんと代表者が江戸の奉行所まで訴えに行くということになったそう。

江戸での滞在は数ヶ月にも及んだが、その間に代表者たちは、慣れない江戸の生活に困った…とかいうわけでもなく、ちゃっかり江戸の獅子舞を習得して帰ってきたそう。この時持ち帰った獅子舞が、以来、現在まで脈々と受け継がれている。なんだかんだ言って現在では高取藩（奈良県）、黒田藩（福岡県）、広い意味で江戸出身（多分）など、多様な人間と共に獅子舞をしている。

これは、獅子舞だけじゃなく「外のものをおもしろがる」という文化そのものが、脈々と受け継がれているのかもしれない。

社協だより

赤い羽根共同募金のお願い

ひとりひとりのやさしさが
あなたの住む村をもっとやさしくしてくれます

募金期間 10月1日～12月31日まで

赤い羽根の共同募金運動は、みなさんのやさしい気持ちを集める「国民たすけあい運動」として開始された活動です。地域で寄せられた募金は、地域で行われる多様なボランティア活動や福祉活動に役立てられます。

また、地震や台風、豪雨などの大規模な災害が発生した際には、募金の一部が被災地へと送られ、被災された方々を支えるボランティア活動の支援にも活用されます。

あなたのやさしさ・声掛け・行動が村を変えていくはじめの一歩となります。
今年も、みなさんのご協力をよろしくお願い致します。



令和8年度村老連杯ゲートボール大会

８月２５日(火)村老連杯ゲートボール大会が開催されました。残暑厳しい中での大会でしたが、どのチームも白熱した試合を繰り広げていました。

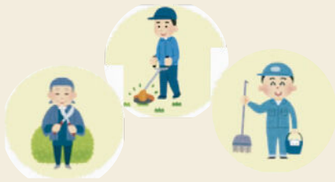
優　勝　チーム・グリーン
準優勝　筏津チーム
第三位　大茅チーム



きっとお役に立ちます！ ミニシルバー人材センター

暮らしの中でお手伝いが欲しい時にまずは、お電話ください。

【センターが請け負う主な仕事】
「草刈り」「庭木の剪定」「除草作業」など



シルバー会員
随時募集中
概ね60歳以上の方ならどなたでも加入できます。
一緒に活動しませんか?



仕事の依頼方法は…

1. 電話で仕事の依頼をする
2. 現場確認
3. 作業開始
4. 作業完了（月末締め 翌月支払い）

（作業の内容によって金額が違う）

お問合せ　社会福祉協議会まで　７９－２５６１

村民紹介リレー

「生きるを楽しむ」西粟倉村の人々を友達紹介リレーでインタビュー！



Pick Up!

小椋 良平太 さん
Ogura Ryoheita
年齢：29歳
所属：（株）アイティエス

今月のテーマ
「自分らしく、暮らしを楽しむ」

僕は西粟倉で生まれ育ち、高校卒業後に大阪や東京へ出て、仕事をしながらいろいろな場所で生活してきました。その後、また西粟倉に戻ってきて、現在は工事現場や温泉、病院、老人ホームなどへ燃料を届ける仕事をしています。お客さんから「ありがとう」と言ってもらえたり、こちらが仕事をしやすいように手伝ってもらえたりすることが嬉しいです。

仕事以外では、友達と旅行やラーメン巡りをしたり、ＤＪをしたりしています。ＤＪを始めたのは6年ほど前で、音楽の趣味が合う友達とフェスやイベントに行くうちに、「自分たちでもやってみよう」と始めたのがきっかけです。最近では村内のイベントなどでＤＪをすることもあり、子どもたちが興味を持ってくれたり、流した曲に反応してくれたりすると、とても嬉しく感じます。

西粟倉に戻ってきて、改めて人とのつながりの温かさを感じています。また、昔と比べて若い人や移住してきた人が増え、村全体に活気が出てきたように感じます。これからは、夜にみんなで集まってご飯を食べたり、若い世代が気軽に集まったりできる場所や機会がもっと増えたらいいなと思っています。田舎で育ったことを恥ずかしく思う必要はありません。西粟倉に住んでいることに誇りを持って、これからも自分らしく楽しんでいきたいです。



西粟倉村役場
電話番号

総務企画課	0868-79-2111	建設課	0868-79-2231
出納室	0868-79-2113	教育委員会	0868-79-2216
保健福祉課	0868-79-2233	診療所	0868-79-2220
産業観光課	0868-79-2230	FAX	0868-79-2125

広報
令和８年１０月号
No.７６１

発行　〒707-0503　岡山県英田群西粟倉村影石33-1
西粟倉村役場 総務企画課
TEL 0868-79-2111　FAX 0868-79-2125

生きるを楽しむ
SDGs 未来都市
西粟倉村